



ふるぼう知生 の

「古ちゃん S レポート」 第 1 号

(古ちゃん S レポート フルチャンス レポート=Full Chance Report)

こんにちは、古坊知生です。皆様から熱いご支援を賜り、区政に送っていただき、はや一年となりました。がむしゃらに走ってきたので、時間的にも精神的にも余裕がなく、皆様に議会活動のご報告をする機会もございませんでしたので、本年より定例会ごとに区政報告をすることにしました。なるべくタイムリーな情報を提供できるように努力したいと思います。

レポートの名前ですが、以前後援会の方から「ふるチャンス」という言葉を「Full-chance = チャンス (好機) がいっぱい」にかけて是非使ってくれというご要望をいただきました。これからこのレポートを「古ちゃん S レポート」と命名させていただき、私にとっても皆様にとっても何かを得ることができる良い好機になればと思っております。今後とも「開かれた区政」、「皆様と共に歩む、皆様のために歩む」をモットーに努力して参りますのでご指導・ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

2008 年第一回定例会 (2 月 15 日 ~ 3 月 21 日) の主な日程

2 月 15 日 : 本会議初日 区長召集挨拶

2 月 19 日 : 本会議 (一般質問)

2 月 20 日 : 本会議 (一般質問) 「教育豊島」の復活を目指して、と題して 20 分間質問を行い、区政を質す。

2 月 22 日 : 都市整備委員会にて審議

2 月 26 日 : 都市整備委員会にて審議

2 月 27 日 : 都市整備委員会にて審議

2 月 28 日 ~ 3 月 17 日 : 予算委員会 (9 日間) の傍聴

3 月 21 日 : 本会議最終日 ; 採決



【議決の結果】

- ・ 区長提出議案 : 45 件 (可決 44 件、撤回 1 件)
- ・ 区民請願 : 2 件 (可決 1 件、継続審議 1 件)
- ・ 区民陳情 : 28 件 (可決 3 件、否決 1 件、継続審議 24 件)
- ・ 議員提出議案 : 7 件 (可決 2 件、否決 5 件)

【解説とポイント】

年度末の定例会ということで、新年度からの条例の改正を目指した議案が多く提出されました。新年度の予算案も含めて大多数の賛成により原案通り可決しました。多くの請願や陳情が提出されましたが、地域のあらゆる問題そして制度の在り方について考えさせられるものが多かったように感じます。

議員提出議案は極めて政治色の濃いものとなり、賛成と反対が拮抗しました。特に道路特定財源の存続及び一

般化や、暫定税率の存続及び廃止問題では自民党・公明党連合や民主党、そして共産党がそれぞれの立場で意見書を提出するという稀に見る展開となり、結局どれも過半数を超えず、両者痛み分けて終わりました。

「区議会の議場に国旗を掲揚する請願」については今定例会で最も熱い戦いが繰り広げられました。日の丸及び君が代についてはいろいろな意見があることを承知しておりますが、日本人として国旗は日の丸であり、国歌は君が代であるということを変えることのできない事実でありますから、この請願については賛成の立場を貫きました。審議を付託された議会運営委員会において自公以外の会派の多数工作により「継続審議」という結論に至ったのですが、本会議場の採決で私を含む一人会派の議員の一票が功を奏して「継続審議」が否決され、再度委員会に持ち越しとなりその委員会では今度「否決」という結果がもたらされました。しかしまたしても本会議場でその「否決」が否決され、結局賛成多数で「可決」という結論を得ました。近い将来、本会議場に日の丸が掲げられることとなります。今後も問題ごとに是々非々で臨む姿勢を私は貫きます。

【平成 20 年度予算の概要】 一般会計 895 億 7813 万円 (前年比: 1 億 2 4 2 9 万円増)

《歳入》

《歳出》

特別区交付金 308 億円 (3 4 . 4 %)	福祉費 300 億 8891 万円 (33.6%)		総務費 122 億 6434 万円 (13.7%)
特別区税 281 億 2780 万円 (3 1 . 4 %)	教育費 74 億 7961 万円(8.3%)	公債費 68 億 4409 万円(7.6%)	諸支出金 104 億 6469 万円(11.7%)
国庫支出金 117 億 1356 万円 (1 3 . 1 %)	土木費 59 億 5653 万円(6.6%)	文化商工費 32 億 9422 万円(3.7%)	清掃環境費 47 億 6355 万円(5.3%)
都支出金 43 億 8096 万円 (4 . 9 %)	衛生費 29 億 5186 万円 (3.3%)	都市整備費 46 億 8830 万円(5.2%)	議会費 6 億 3198 万円(0.7%)
地方消費税交付金 41 億 9000 万円 (4 . 7 %)			
その他 103 億 6578 万円 (1 1 . 6 %)			

【20年度予算の特徴と方向性】

- ・ 対前年度比1億2400万円の増。昨年に引き続き2年連続の増加となりました。また3年連続して財政調整基金の繰り入れ等財源対策を講じない予算となっています。
- ・ 重点施策は「文化」、「健康」、「都市再生」、「環境」。サブタイトルは文化と品格を誇れる価値ある街づくりと環境に配慮した都市の創造。
- ・ 新規拡充事業も50件盛り込む2年連続の積極予算となっています。
- ・ 一時期の危機的状況から脱し、安定的な財政運営が可能となるまで改善してきましたが、今なお重い負債の解消、高齢化の進展による将来の医療費や介護給付費の負担増、老朽化した公共施設の改築・改修など、多くの課題を抱えています。そのため安定的で持続可能な財政基盤の確立が不可欠です。
- ・ 負債の繰り上げ償還を加速させて将来負担の軽減を図るとともに、将来の備えとして年度間の財源調整を図る財政調整基金や公債費負担の軽減を図る減債基金、さらには、長期間にわたる学校改築を着実に推進するための義務教育施設整備基金などの充実に努めます。
- ・ さらには二度と財政危機を招かないためにも今後も行財政改革の姿勢を堅持して人件費の抑制や事務事業の見直しに務めるなど、引き続き区財政の構造改革に取り組んでいきます。

【5特別会計】

1. 国民健康保険事業会計 : 289億9952万円
2. 老人保健医療会計 : 24億7507万円
3. 後期高齢者医療事業会計 : 46億3471万円
4. 介護保険事業会計 : 139億5299万円
5. 従前居住者対策会計 : 574万円

今年度から後期高齢者医療制度がスタートすることにより、4会計から5会計に増えました。その分、老人保健医療会計が大幅な減額になっています。

【古ちゃんのチェック ~後期高齢者医療制度~】

今年度から後期高齢者医療制度がスタートしました。たいへん評判が悪く、区役所にも毎日300件を超える電話が殺到しているとのことでした。何が問題なのか整理してみましょう。

世帯主のみ保険料を払えば良かった今までの制度と違い、この制度は75歳以上の個人全員が対象となり、保険料が徴収される 日本の伝統的な「家族」の一体感を崩壊させる危険性がある。

徴収方法は年金から天引き方式 社会保険庁のデタラメが明らかとなり、年金制度に信頼がもてない状況の中で、その年金から天引きするということは道義的に納得がいかない。

保険料の金額が地域によって違う 激変緩和措置によって、保険料の減額がされてはいるが、大都市では、都府県の補助により保険料がかなり減額されるが、地方では補助をあまり受けることができずここにも地域格差が生じている。富める者は富み、貧しい者はますます貧しくなる。

戦後の、平和で経済的な繁栄をもたらしてくれた現在の高齢者の方々に、人生の最後において保険料の支払いなどさせるべきではない。 感謝の念を持って医療費は無料にすべきである。財源は若者の負担や税体系の抜本的見直しにより捻出すべきと考える。

非常に分かりにくい制度であり、高齢者の方々がすぐに理解するのは難しいと考える。周知期間が短く、徹底がなされていなかった。 制度がスタートした今日でも保険証が届いていない等トラブルが多発している。

広域連合という形態をとっているため豊島区独自で離脱して保険業務を行うことが不可能。

【古ちゃんのチェック ～環境基本条例～】

今定例会で、高野区長は今年から豊島区も「環境」を最重要課題としていく旨、所信表明しました。その決意どおり、区長提出議案として環境基本条例が私の所属する都市整備委員会に付託され審議されました。豊島区の環境基本条例はまだ環境に対する区の理念と姿勢をあらわしたに過ぎず、具体的にはこれから構成される環境審議会（専門家を含めた25名ぐらいの組織）において区と区民、そして企業の果たすべき役割を決定することになります。

私は区民の一人ひとりが環境という、今現実に行っている問題をいかに自分のあるいは人類の問題としてとらえることができるかということが解決への大きな一歩だと思います。大きいことは言わず、とにかく無駄な電気を消すとか、水の出しっぱなしを止めるだとか、小さなことからスタートすることが大切なのではないでしょうか。その小さなことも集まれば大きな力になるはずですよ。皆さんもプチ・エコ対策をはじめませんか。

【区役所での古ちゃん～区民の代表としての自覚をもち、是々非々を貫きます～】



会派に対する予算内示会での一コマ、政策経営部長等から平成20年度の予算の説明を受ける。その後、私の質問や要望を聴いてくれました。



都市整備委員会が19年度の私の所属する常任委員会でした。街づくりや清掃・環境問題について熱い議論が交わされました。



「区議会の議場に国旗を掲揚する請願」の審議中。私の一票で継続審議が否決され、再び議運で結論を得るために激しい議論が交わされています。(私のせい?)



最終日の全日程が終了した時間が、夜の11時40分でした。さすがに疲れました。共産党の批判の為の批判にはもう辟易です。時間の無駄では？